

平成25年 5月20日

平成25年3月期 決算説明会



本資料には、当社及び当社グループの将来についての計画、戦略、業績の予測に関する記述が含まれています。

これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が予測したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績または展開は、記述されているものと異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 決算説明

- 管理本部長 鞠谷 祐士

2. 課題と取組み

- 代表取締役社長 井上 舜三

3. 今後の方向性

- 執行役員副社長 今井 雅則

1. 決算説明

管理本部長 鞠谷 祐士

1-1. 決算概要

■ 連結売上高 4,970億円（前期比+1.6%）

- ： 当社及び在外子会社における手持ち工事が進捗したことにより、完成工事高が増加した。

■ 営業損失 ▲469億円（前期差▲390億円）

- ： 建設事業において、労務の逼迫等によりコストを巡る環境が一層厳しさを増し、手持ち工事の採算が悪化したことにより、営業損益は大幅な赤字となった。

■ 建設受注高（個別） 3,390億円（前期差▲641億円）

- ： 建築工事の選別受注による受注減少（建築：前期比▲22.3%）により、全体では前期比▲15.9%となった。

決算概要

単位:億円	24/3期	25/3期			
		第3四半期 予測	実績	前期との差	予測との差
連結売上高	4,893	5,007	4,970	+77	▲37
営業損失	▲79	▲430	▲469	▲390	▲39
経常損失	▲66	▲416	▲455	▲389	▲39
当期純損失	▲198	▲630	▲652	▲454	▲22
建設受注高(個別)	4,032	3,278	3,390	▲642	+112

赤字決算の主な要因

■ 建設事業損失(▲271億円)の発生

- ： 労務の逼迫等によるコスト環境の悪化及び手持工事の採算悪化により損失が発生した。
建築工事原価の精査を行い、工事利益予測を保守的に見積もり、工事損失引当金の前倒し計上を行った。

■ 特別損失(▲44億円)の計上

- ： 投資有価証券評価損・売却損約22億円、固定資産減損損失(賃貸不動産)約9億円等を計上した。

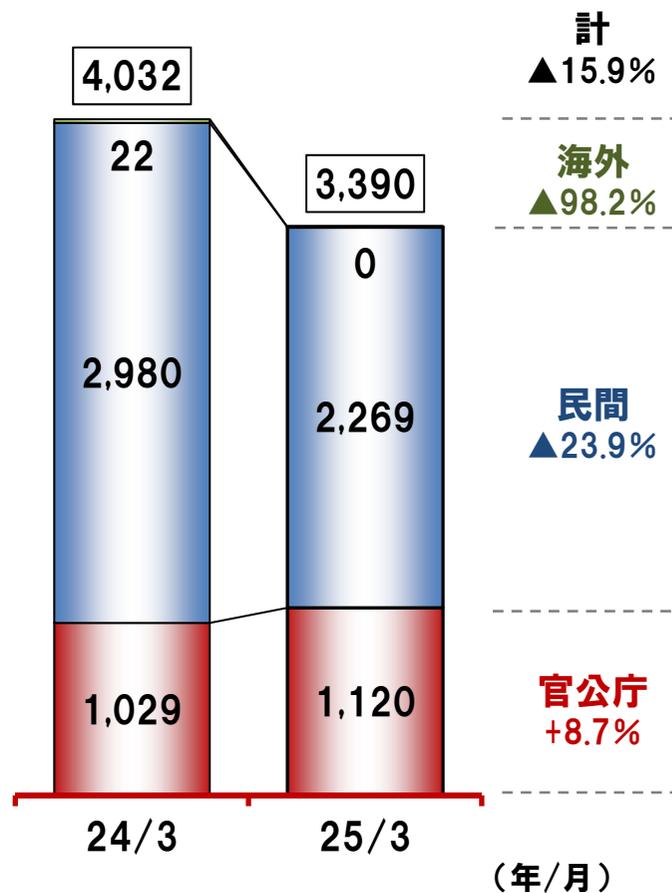
■ 法人税等の増加

- ： 繰延税金資産の取崩し約170億円により、税金費用が増加した。

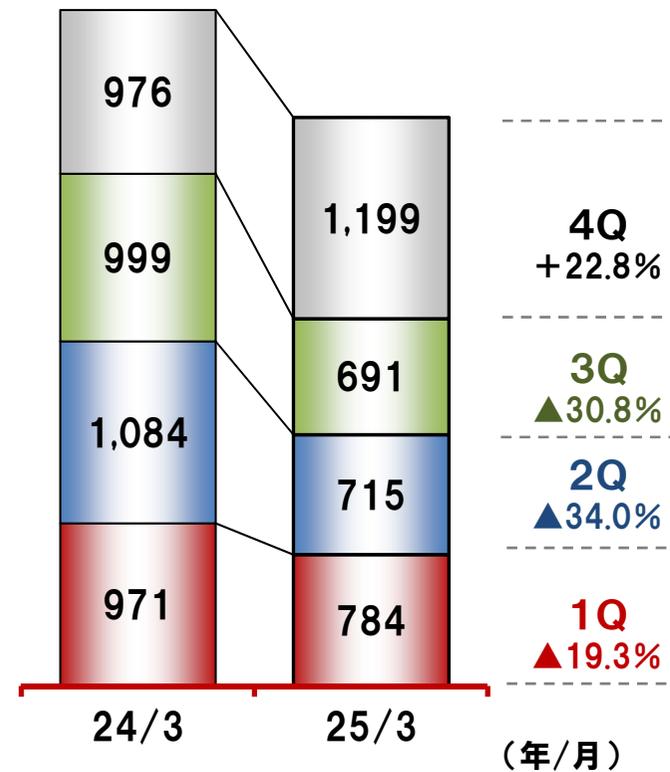
【個別】建設受注高の内訳

(単位:億円)

発注者区分別



四半期別



主な受注工事

	発注者	工事名
建築	日本郵便	大宮桜木町一丁目計画
	京成曳舟駅前東第三地区市街地再開発組合	京成曳舟駅前東第三地区再開発
	牧野フライス製作所	厚木第三工場
	同仁会	耳原総合病院
	ヤクルト本社	中央研究所第2期(B工区)
	獨協学園	獨協医科大学教職員宿舎
土木	東日本高速道路	北海道横断道 第二天神トンネル
	環境省地球環境局	平成24年度浮体式洋上風力発電実証事業
	東北地方整備局	仙台湾南部海岸中浜工区坂元地区北第2復旧

※敬称略、工事名は略称

主な完成工事

	発注者	工事名
建築	三菱地所	大手町一丁目第2地区B棟
	東京都健康長寿医療センター	健康長寿医療センター
	都市再生機構	武蔵浦和駅第1街区第一種市街地再開発
	ヤマト運輸	厚木物流ターミナル
	市街地再開発組合	問屋町西部南街区再開発
	日本赤十字社	和歌山医療センター
土木	首都高速道路	溝田橋架替下部・石神井川付替
	中日本高速道路	河原口高架橋(下部工)
	中国地方整備局	広島南道路観音東改良

※敬称略、工事名は略称

1-2. 決算詳細説明

【連結】グループの状況

事業		国内子会社	海外子会社	16社
建設	建築	<ul style="list-style-type: none"> 戸田リフォーム(株) シプコー工業(株) (株)アペックエンジニアリング 千代田建工(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル戸田建設(株) 戸田建設工程(上海)有限公司 タイ戸田建設(株) ベトナム戸田建設(株) 戸田フィリピン(株) ABTD(株) 	10社
	土木	<ul style="list-style-type: none"> 戸田道路(株) 		1社
不動産		<ul style="list-style-type: none"> 千代田土地建物(株) 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ戸田建設(株) 	2社
その他		<ul style="list-style-type: none"> 戸田ファイナンス(株) 千代田スタッフサービス(株) 東和観光開発(株) 		3社

【連結】グループ業績概況

※消去前の数字

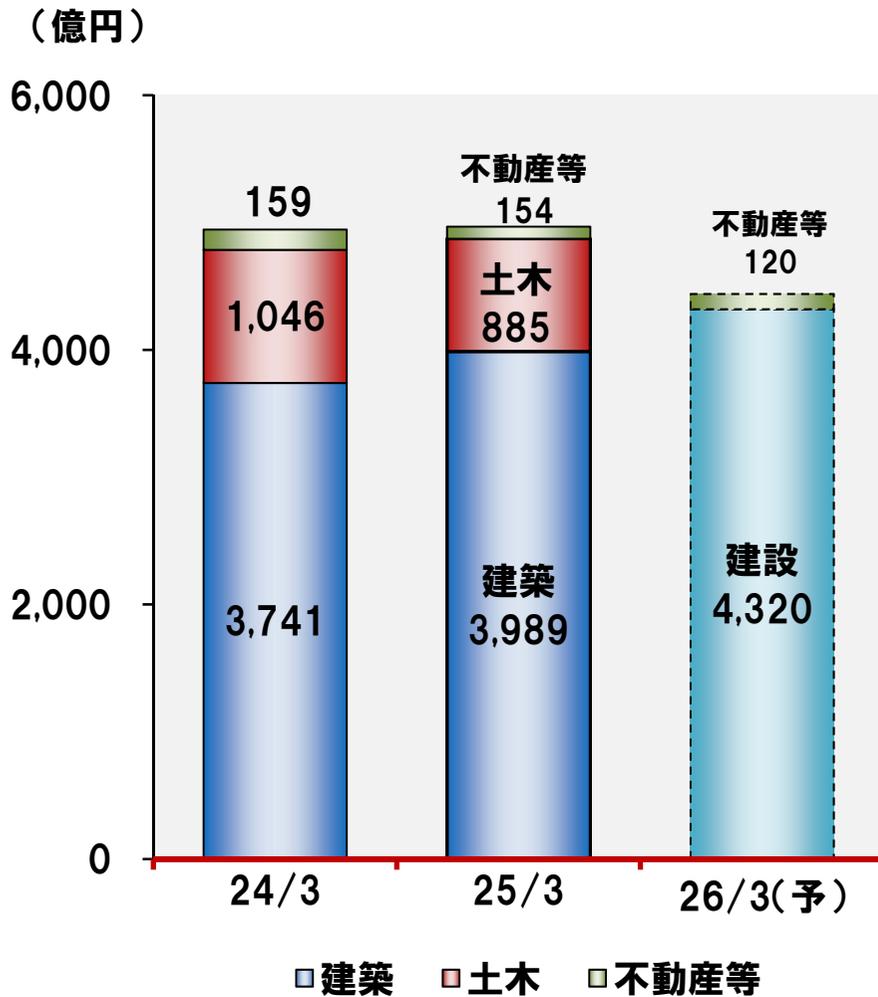
25/3期 単位:億円	戸田建設		子会社計		25/3連結		連単 倍率
		%		%		%	
売上高	4,602		597		4,970		1.08
売上総利益	▲273	▲5.9	33	5.5	▲246	▲5.0	—
一般管理費	201		26		223		
営業利益	▲474	▲10.3	6	1.0	▲469	▲9.5	—
営業外損益	12		1		14		
経常利益	▲462	▲10.1	7	1.3	▲455	▲9.2	—
特別損益	▲27		0		▲22		
税引前当期純利益	▲490		8		▲478		
法人税等	173		4		174		
当期純利益	▲663	▲14.4	4	0.7	▲652	▲13.1	—

【連結】連結損益計算書

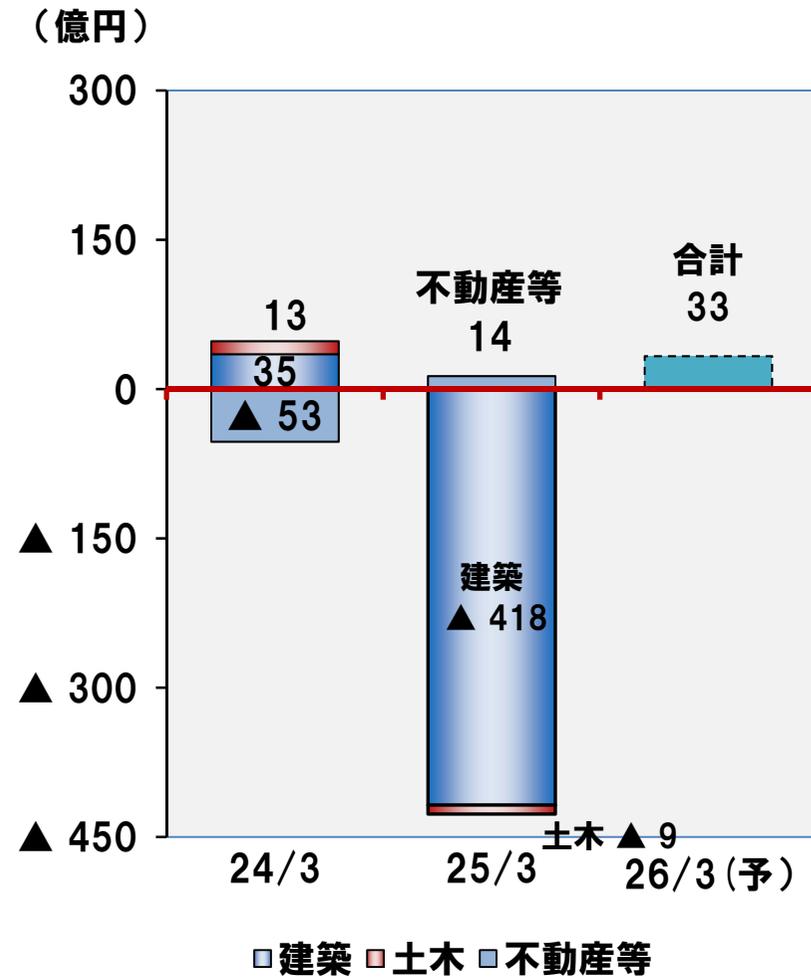
単位:億円	24/3(実績)		25/3(実績)		増減額	26/3(計画)	
		%		%			%
売上高	4,893		4,970		+76	4,440	
売上総利益	151	3.1	▲246	▲5.0	▲397	243	5.5
一般管理費	231		223			210	
営業利益	▲79	▲1.6	▲469	▲9.5	▲390	33	0.7
営業外収支	13		14			13	
経常利益	▲66	▲1.4	▲455	▲9.2	▲388	46	1.0
特別損益	▲63		▲22			40	
税引前当期純利益	▲130		▲478			86	
法人税等	68		174			10	
当期純利益	▲198	▲4.1	▲652	▲13.1	▲454	76	1.7

【連結】セグメント 売上高・利益

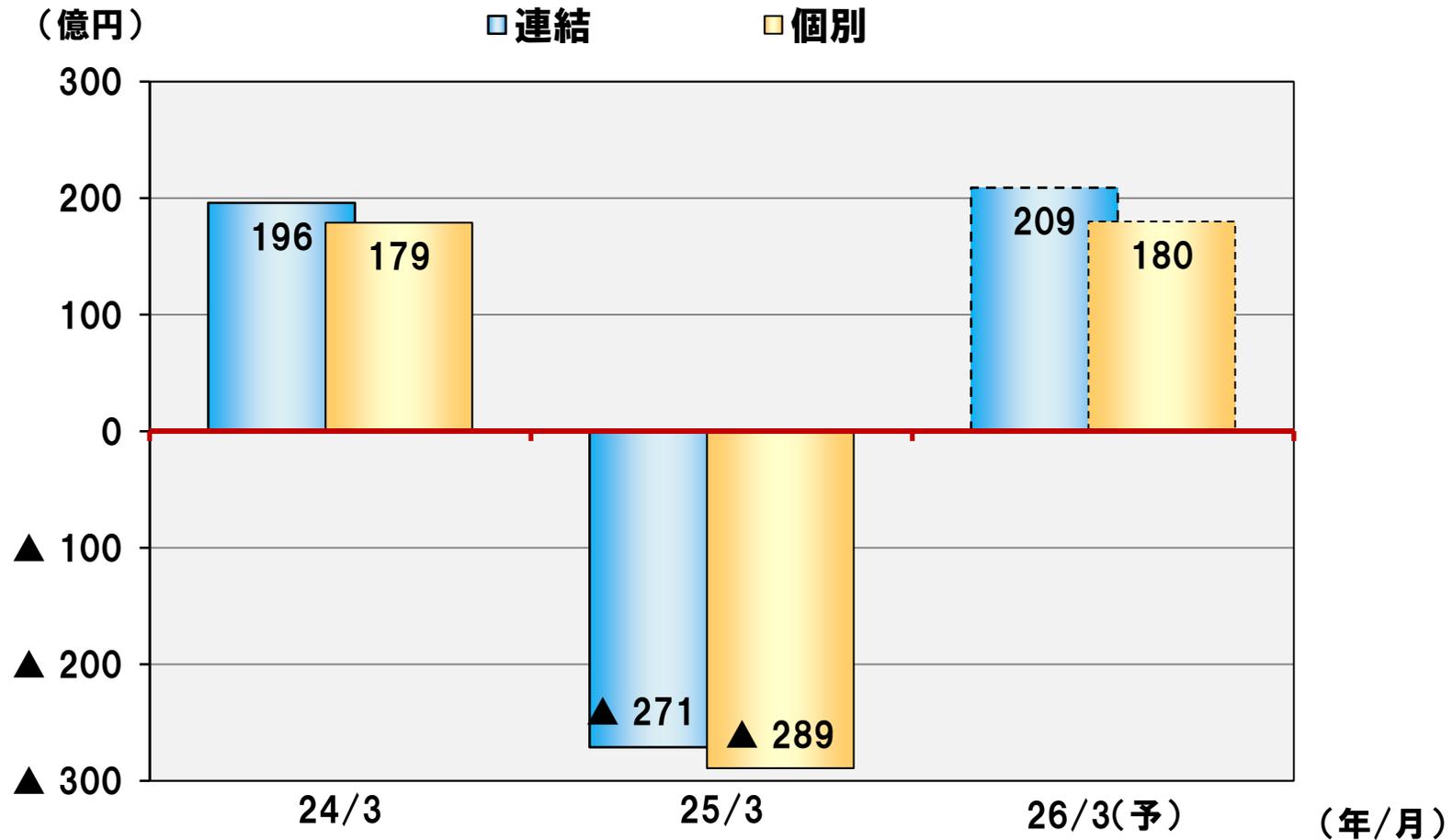
売上高



営業利益

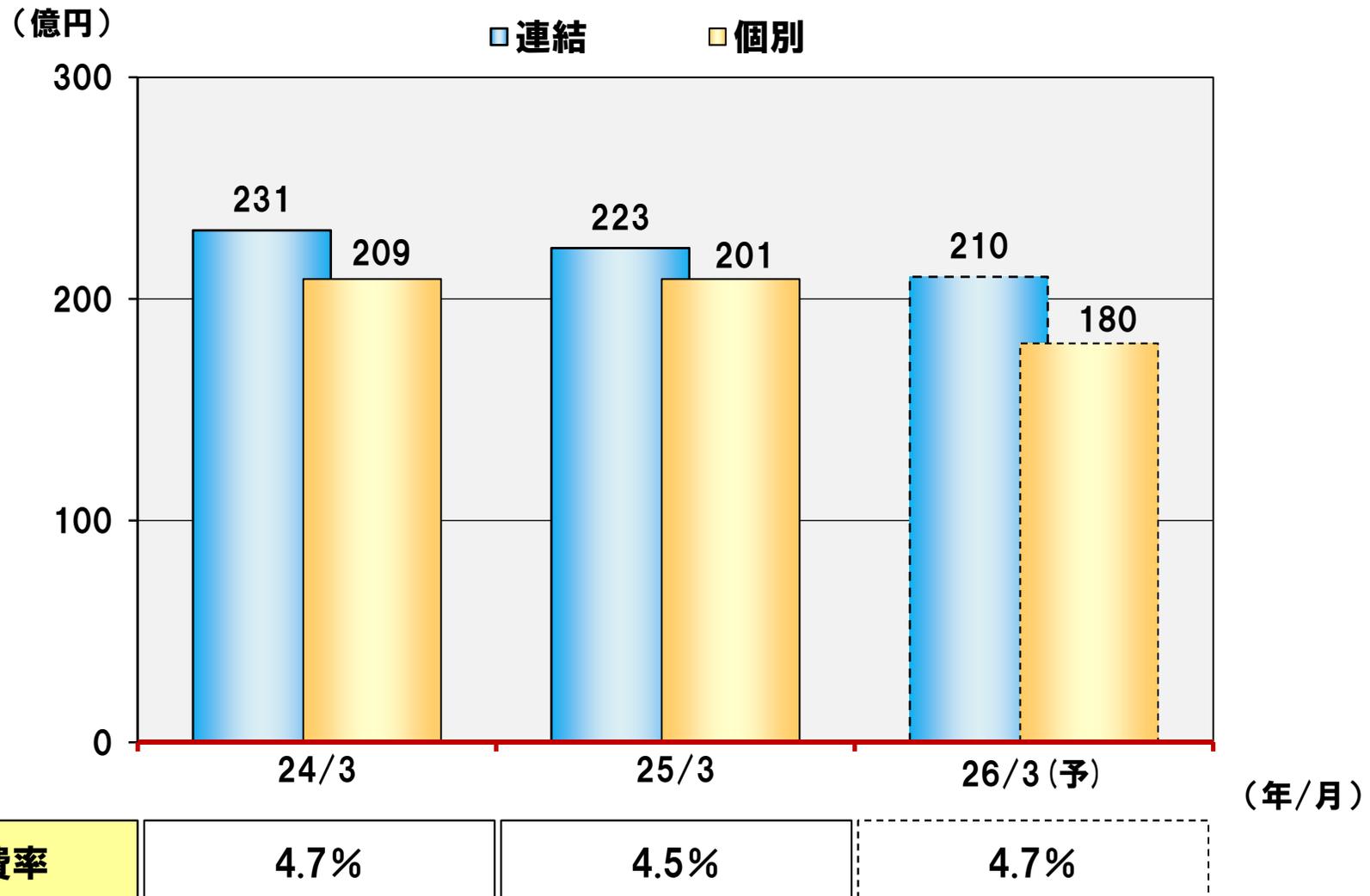


【連結】完成工事総利益の推移

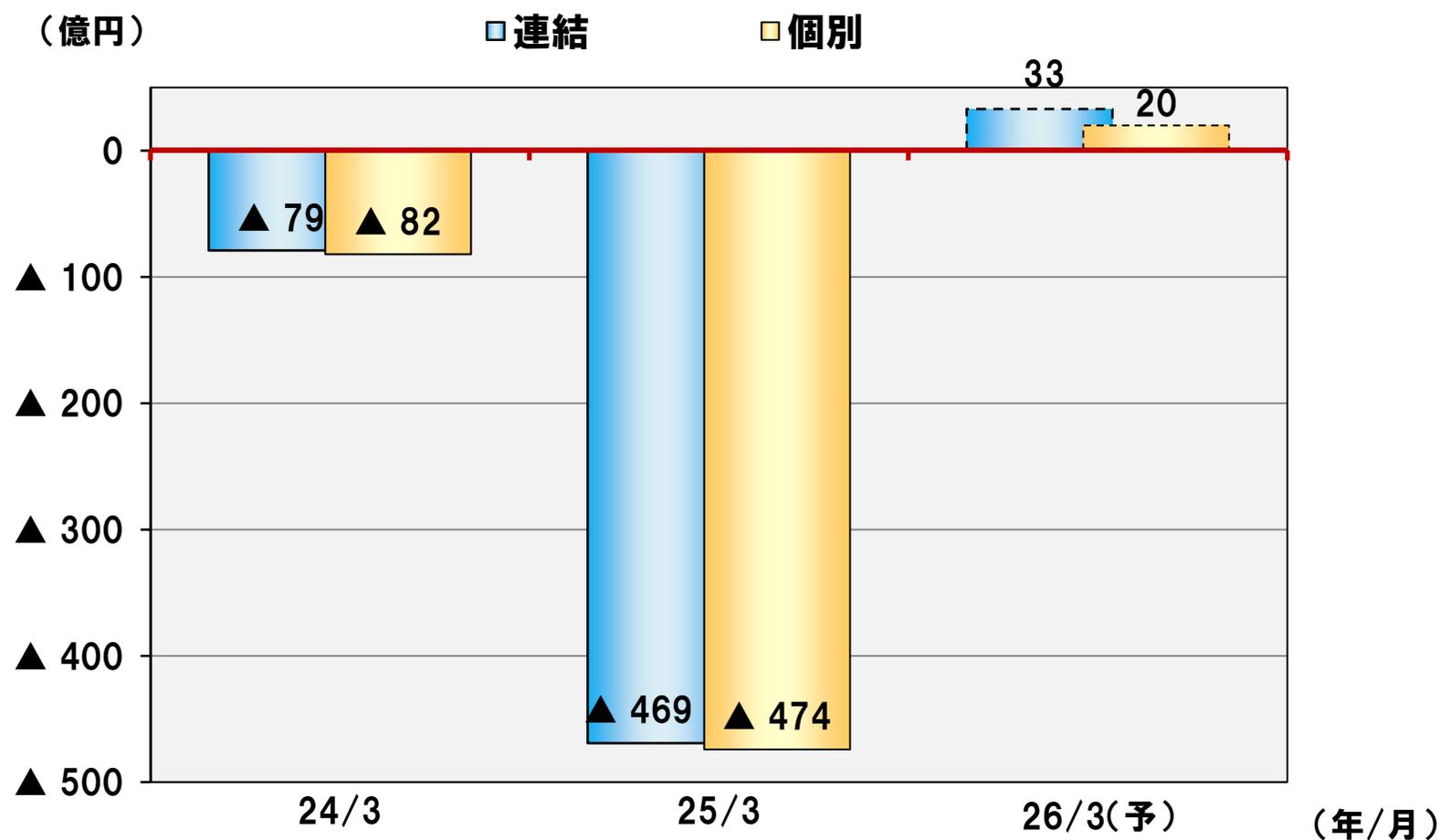


完成工事総利益率	4.1%	▲5.6%	4.8%
----------	------	-------	------

【連結】販管費の推移

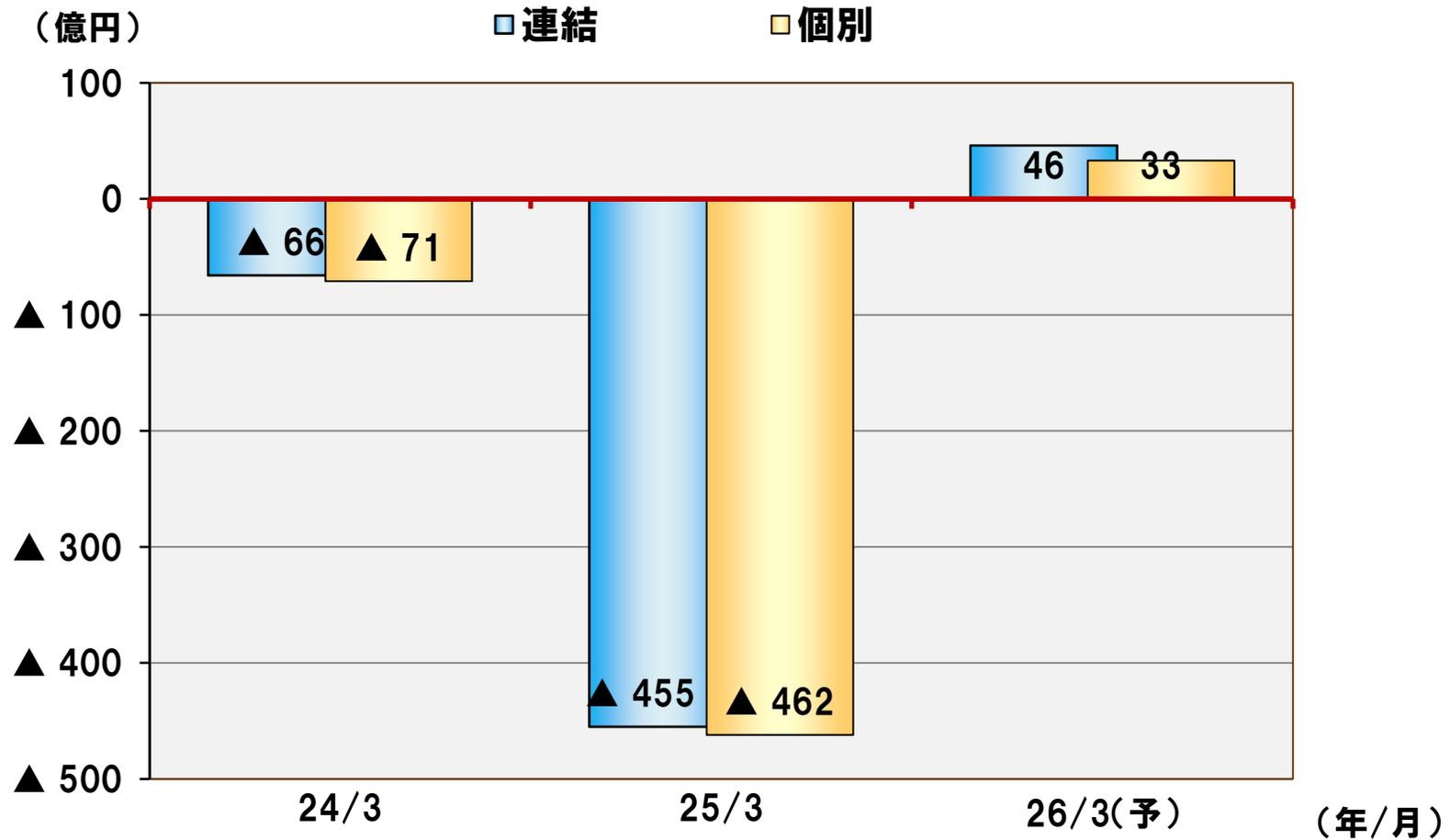


【連結】営業利益の推移



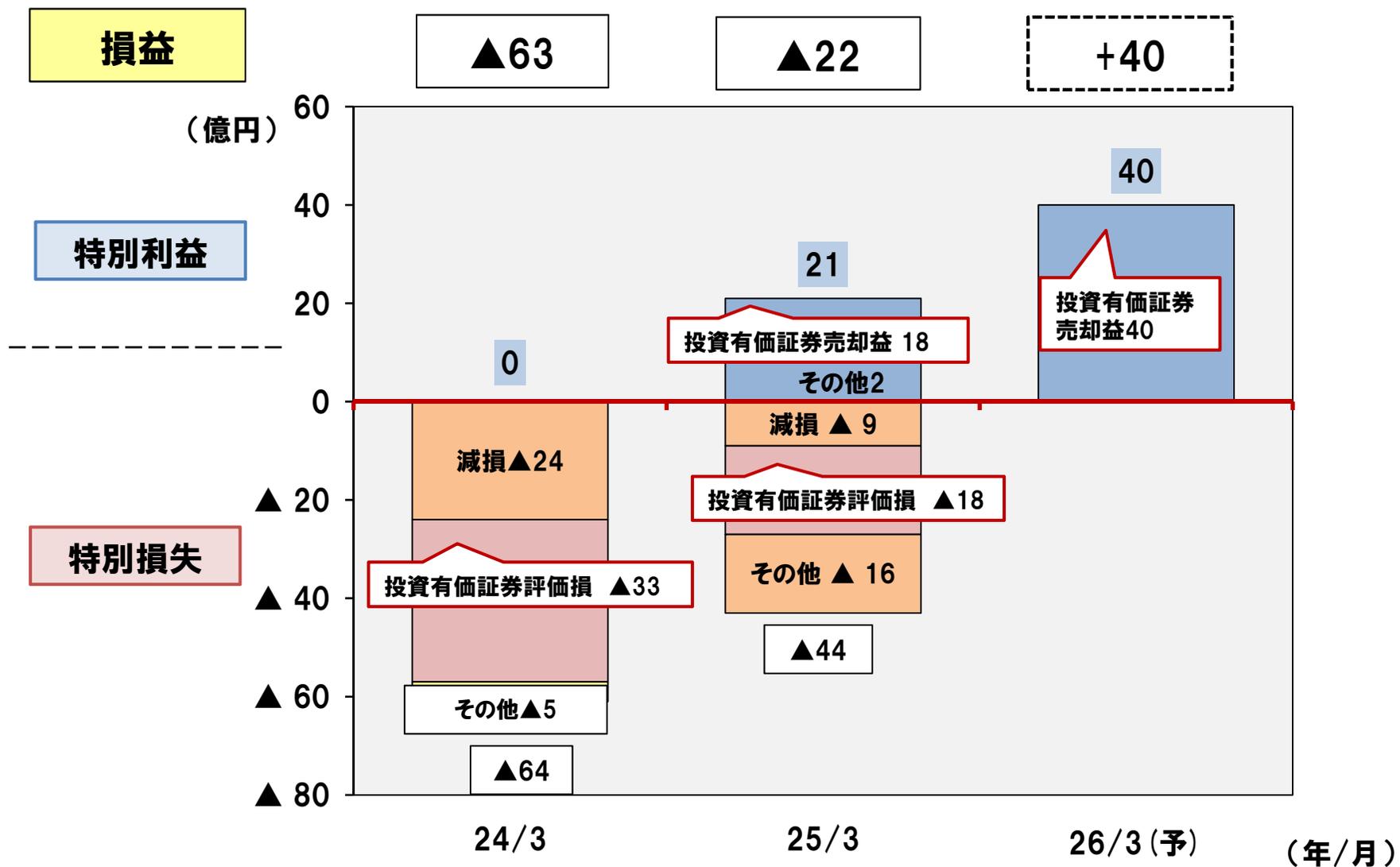
営業利益率	▲1.6%	▲9.5%	0.7%
-------	-------	-------	------

【連結】経常利益の推移

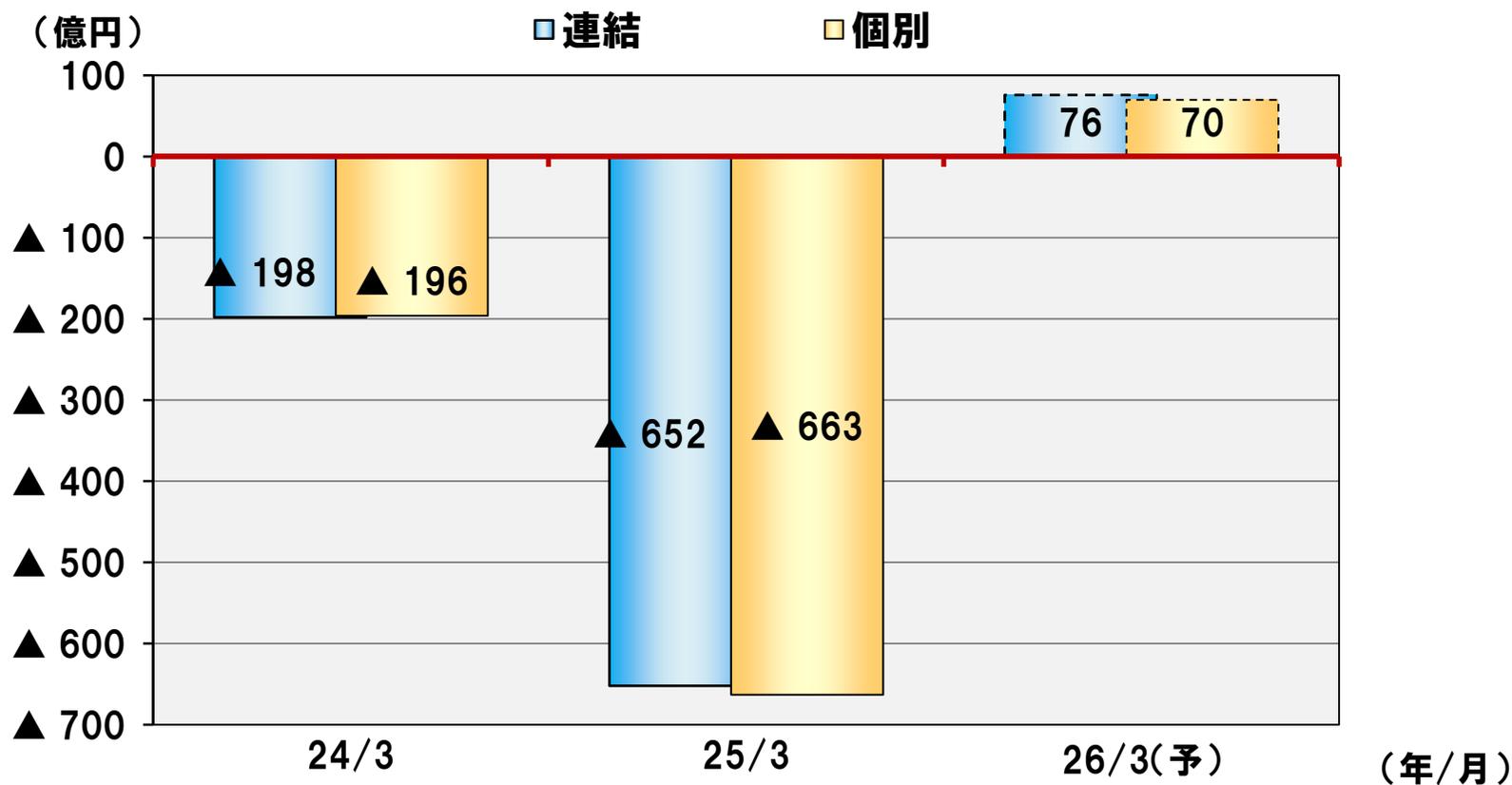


経常利益率	▲ 1.4%	▲ 9.2%	1.0%
-------	--------	--------	------

【連結】特別損益の推移

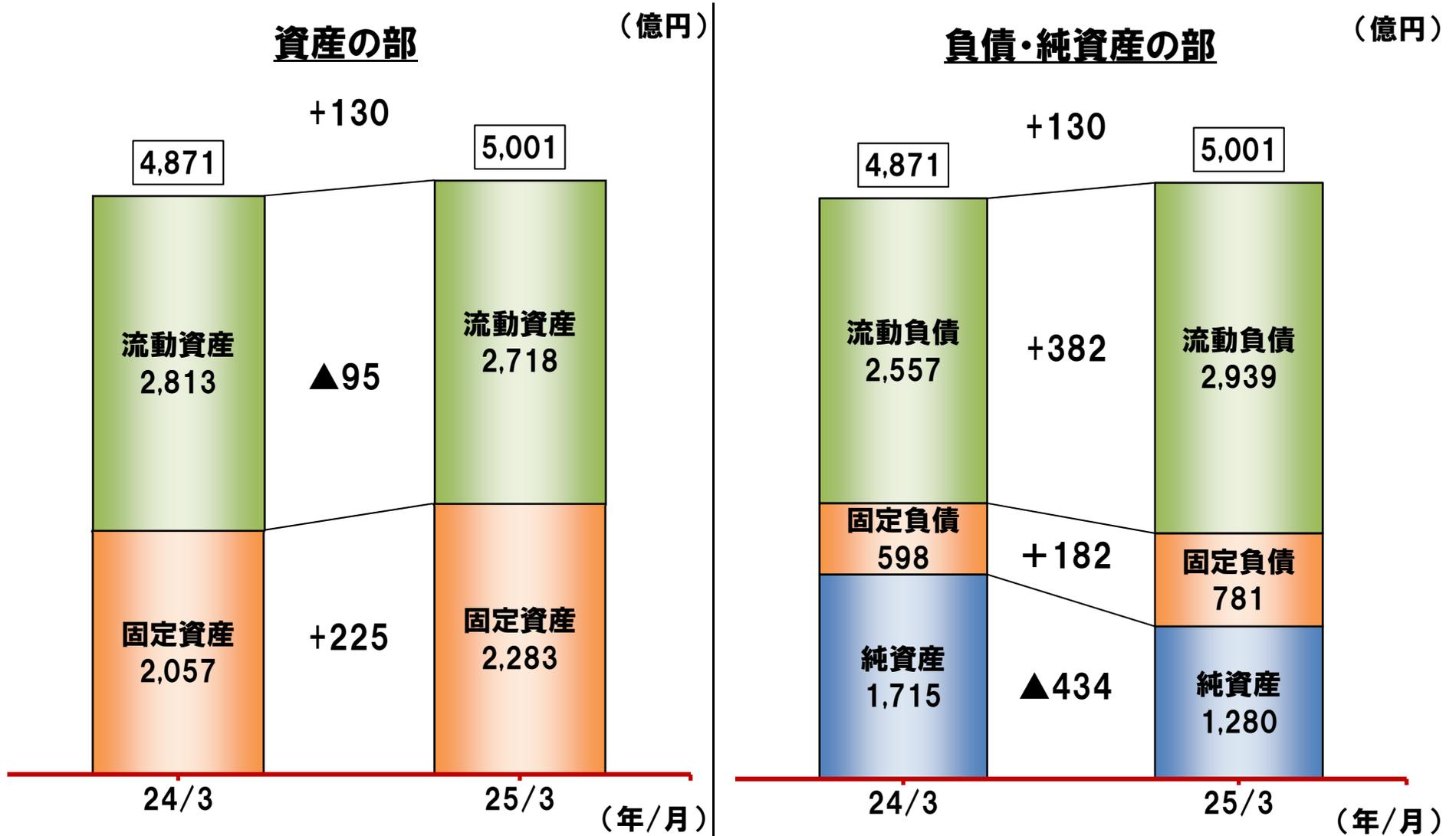


【連結】当期純利益の推移



当期純利益率	▲ 4.1%	▲ 13.1%	1.7%
1株当り配当金	6.0円	5.0円	5.0円

【連結】連結貸借対照表



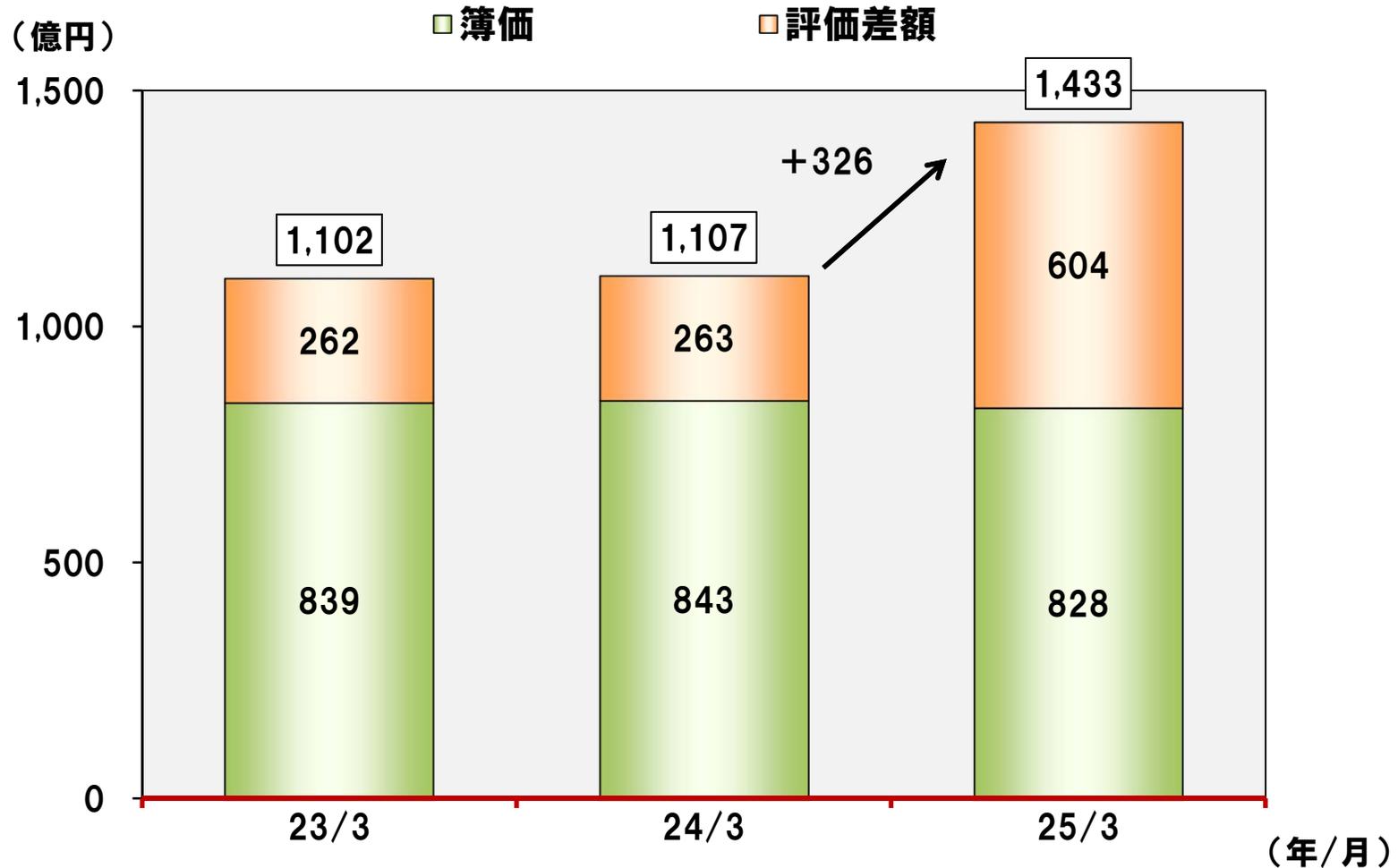
【連結】連結貸借対照表 詳細

単位:億円	24/3	25/3	ポイント ()内は前期比増減額								
(資産の部)											
流動資産	2,813	2,718	<table border="1"> <tr> <td>現金</td> <td>387(+18)</td> </tr> <tr> <td>受取手形・未収入金</td> <td>1,647(+ 5)</td> </tr> <tr> <td>販売用不動産</td> <td>248(+53)</td> </tr> <tr> <td>未成工事支出金</td> <td>201(▲107)</td> </tr> </table>	現金	387(+18)	受取手形・未収入金	1,647(+ 5)	販売用不動産	248(+53)	未成工事支出金	201(▲107)
現金	387(+18)										
受取手形・未収入金	1,647(+ 5)										
販売用不動産	248(+53)										
未成工事支出金	201(▲107)										
固定資産	2,057	2,283									
有形固定資産	873	781	<table border="1"> <tr> <td>建物・構築物</td> <td>163(▲14)</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>608(▲57)</td> </tr> </table>	建物・構築物	163(▲14)	土地	608(▲57)				
建物・構築物	163(▲14)										
土地	608(▲57)										
無形固定資産	30	30									
投資その他の資産	1,154	1,471	<table border="1"> <tr> <td>投資有価証券</td> <td>1,433(+325)</td> </tr> </table>	投資有価証券	1,433(+325)						
投資有価証券	1,433(+325)										
資産合計	4,871	5,001									

【連結】連結貸借対照表 詳細

単位:億円	24/3	25/3	ポイント ()内は前期比増減額
(負債の部)			
流動負債	2,557	2,939	支払手形・未払金 1,551(+223) 短期借入金・CP 527(+157) 未成工事受入金 343(▲69) 工事損失引当金 231(+91)
固定負債	598	781	長期借入金 206(+2) 繰延税金負債 223(+192) 退職給付引当金 213(▲6)
(純資産の部)			
株主資本	1,462	792	
その他の包括利益累計額等	252	488	利益剰余金 367(▲670) 有価証券評価差額 400(+230)
負債・純資産合計	4,871	5,001	

【連結】投資有価証券の推移



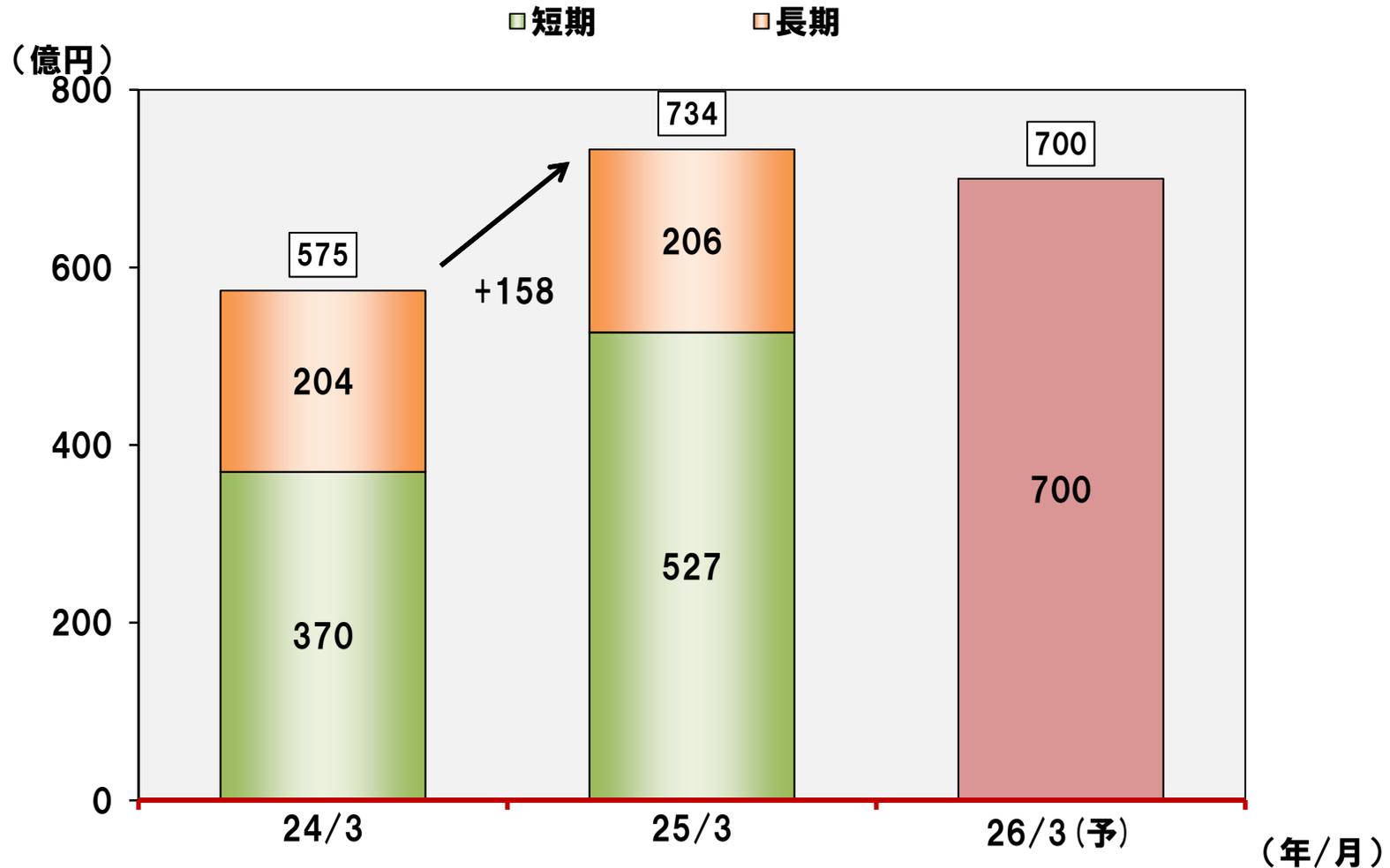
日経平均株価

11,089円

9,755円

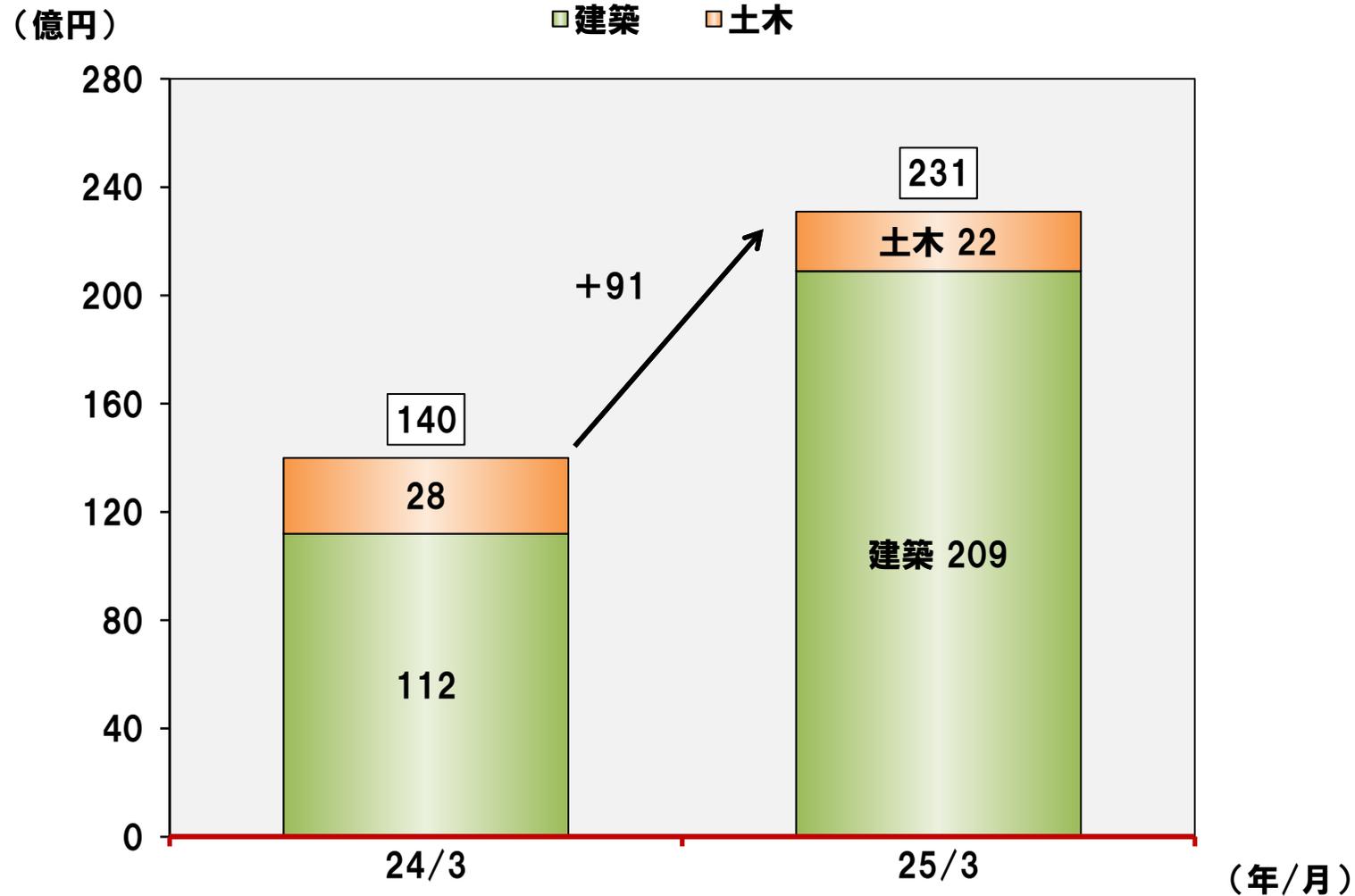
12,397円

【連結】有利子負債の推移



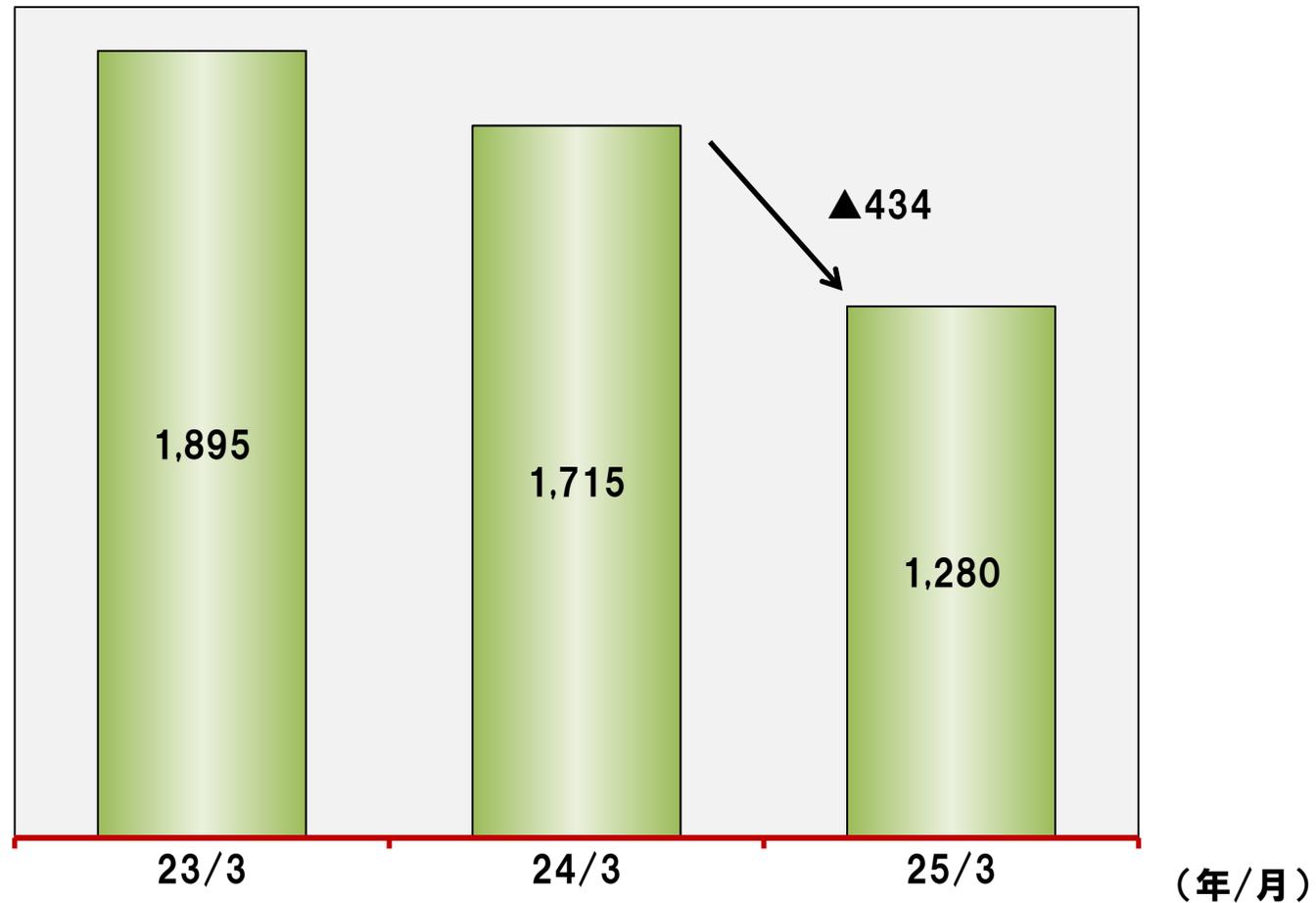
有利子負債比率	11.6%	11.8%	—
---------	-------	-------	---

【連結】工事損失引当金の推移



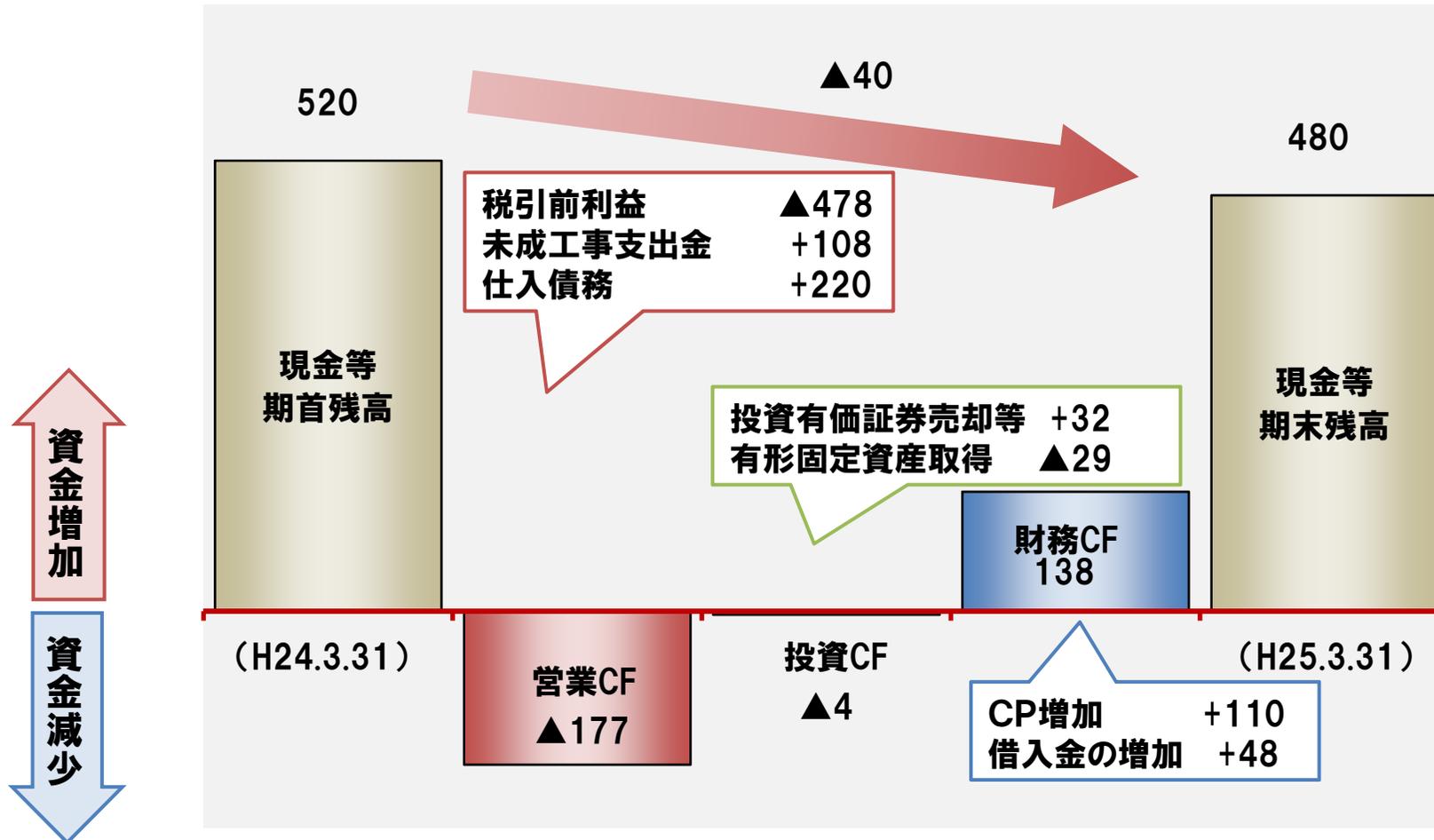
【連結】純資産額の推移

(億円)



【連結】キャッシュフロー

(単位:億円)



1-3. 業績予測

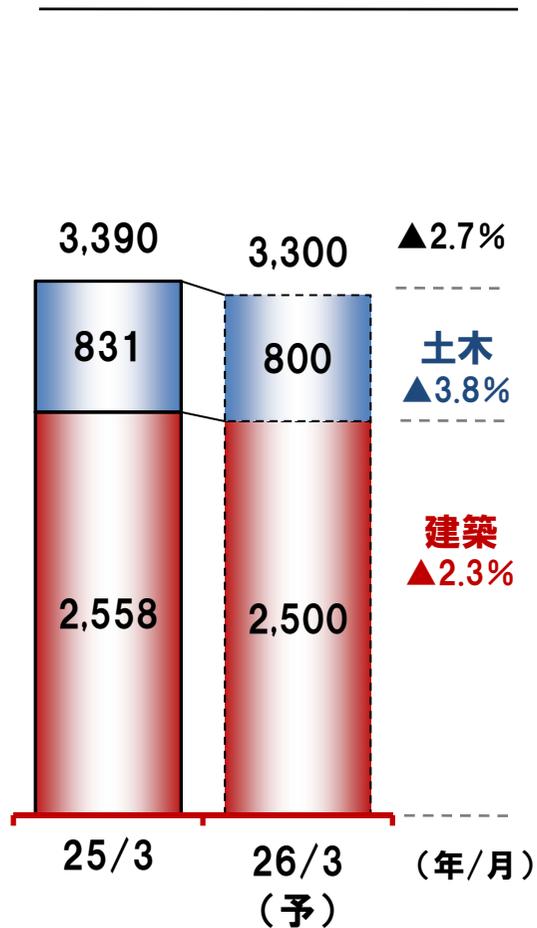
平成26年3月期 決算予測

単位:億円	25/3期	26/3期		
		予 測	前期との差	
連結売上高	4,970	4,440	▲10.7%	▲530
営業利益	▲469	33		+502
経常利益	▲455	46		+501
当期純利益	▲652	76		+728
建設受注高(個別)	3,467	3,360	▲3.1%	▲107

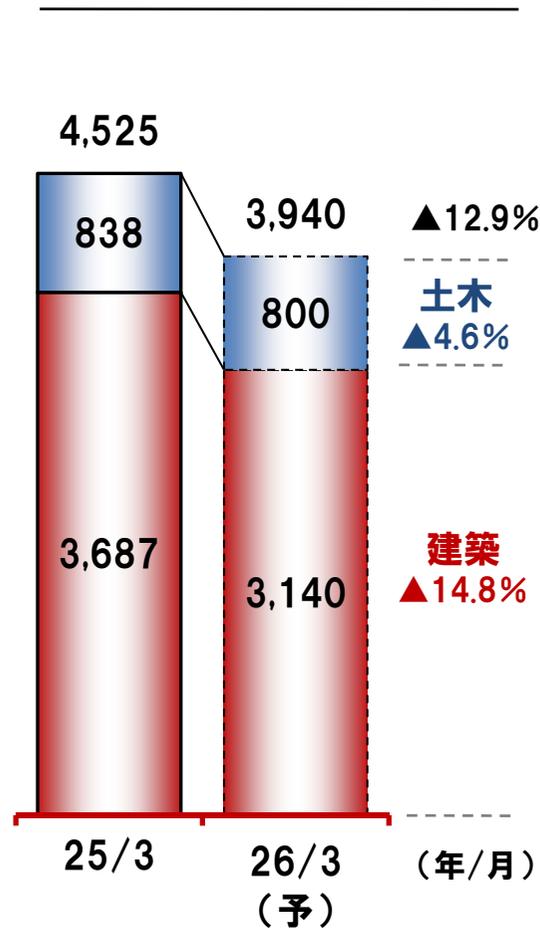
【個別】建設事業の業績予測

(単位:億円)

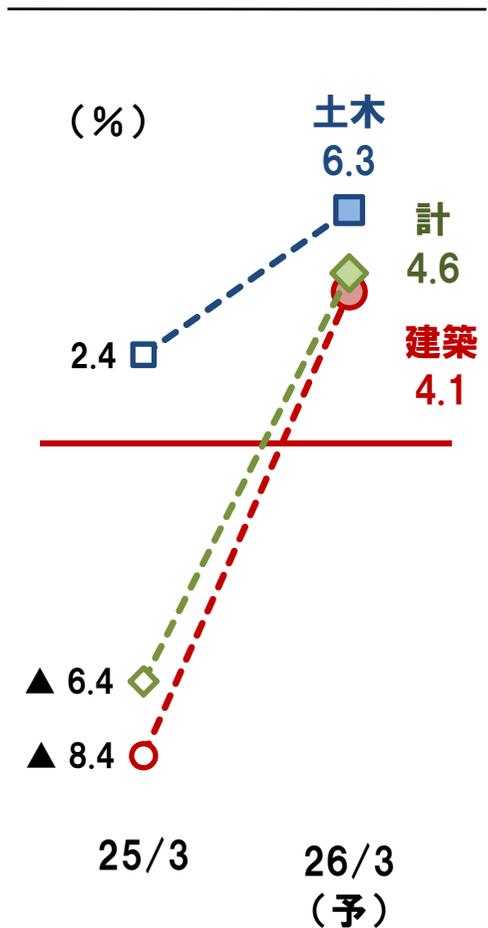
建設受注高



完成工事高



完成工事利益率



平成26年3月期 個別業績の予測

	金額 (億円)	利益率 (%)	
売上高	4,000		
売上総利益	200	5.0	
建設事業 利益	180	4.6	
(建築)	(130)	(4.1)	
(土木)	(50)	(6.3)	
不動産事業等 利益	20	33.3	
一般管理費	180		
営業利益	20	0.5	
経常利益	33	0.8	
特別損益	40		投資有価証券 売却益
当期純利益	70	1.8	

2. 課題と取り組み

代表取締役社長 井上 舜三

2-1. 課題認識

**2期連続の赤字決算
下方修正の連続**



**建築事業の立て直しが急務
（認識、戦略、組織）**

原因は当社に内在していると認識

市場の低迷

価格競争

資材価格の高騰

不採算受注

工程逼迫
ロスコスト発生

コスト計画未達成

規模の維持

受注ありき(偏重)

消化力の不足

業績悪化

2-2. 業績回復に向けた取り組み

適正規模化の推進

選別受注の徹底

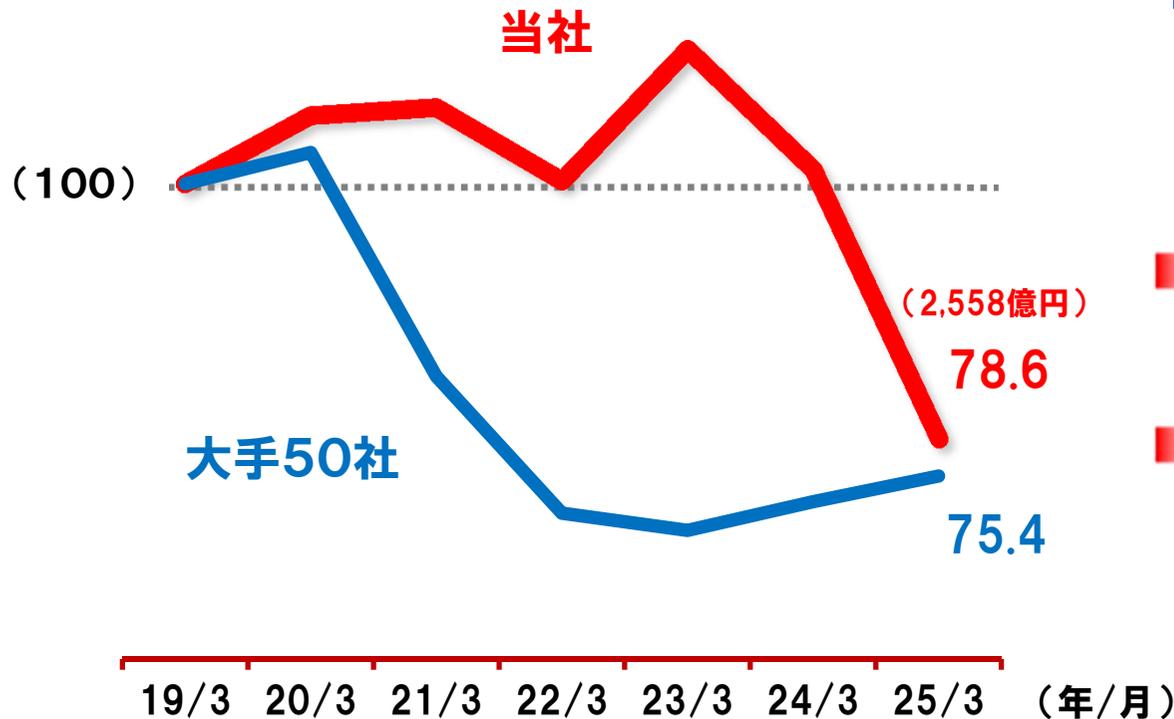
受注管理体制の強化

工事採算の精査・管理

一般管理費の削減

適正規模化の推進

建築受注高の推移 (19/3期=100)



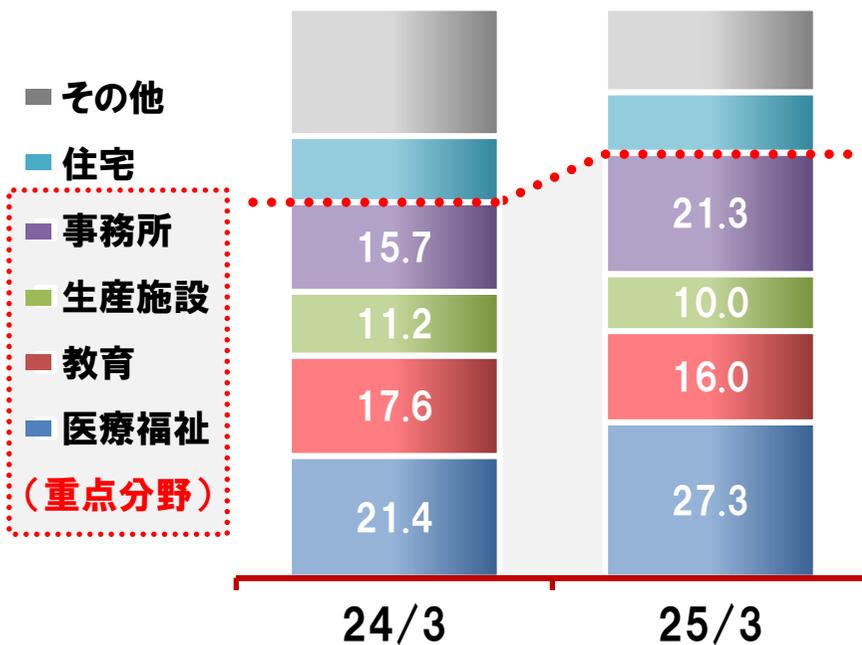
市場と合致した 受注規模を確立

- 量と質のバランス、利益重視の方針を堅持
- 適正な工事消化体制を再構築

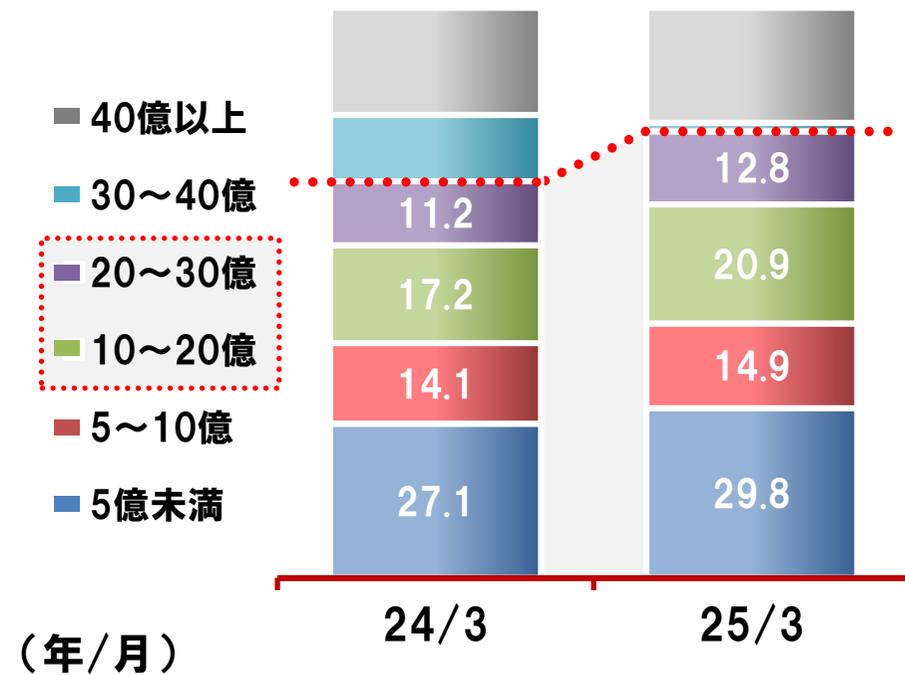
※資料出所:国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

「重点分野 × 中規模物件」を受注

用途別 (建築受注構成比)

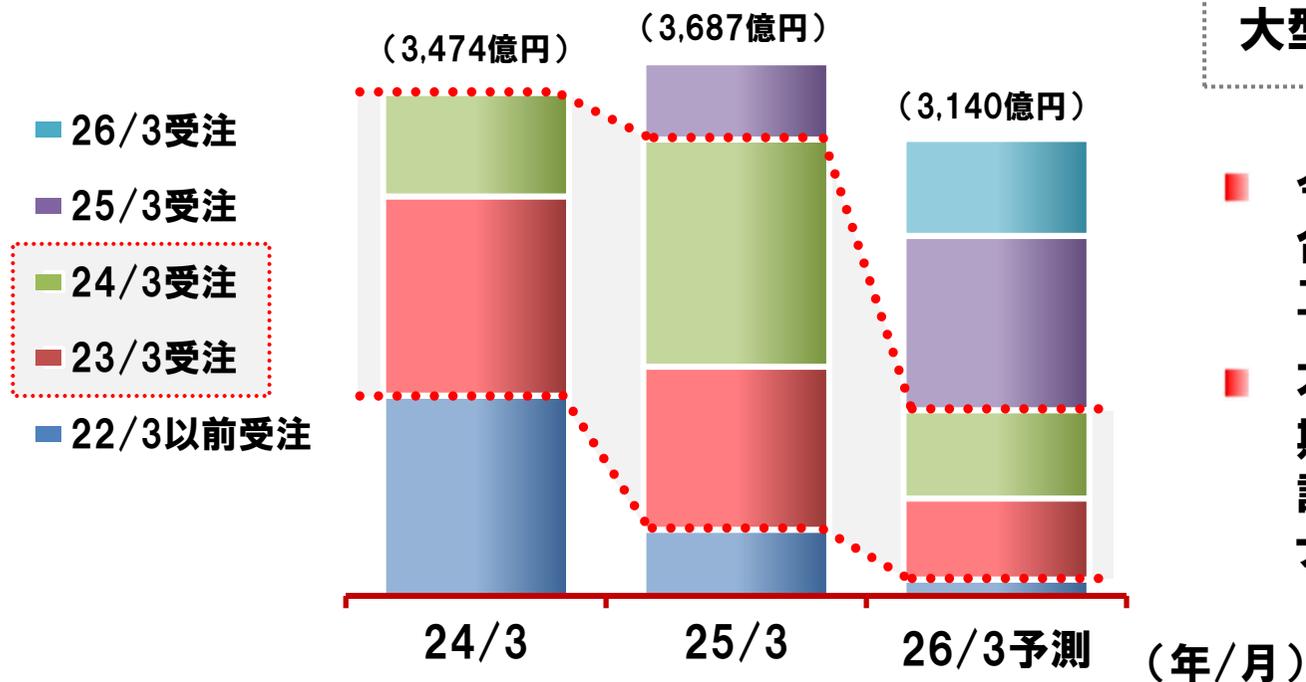


規模別 (建築受注構成比)



【参考】受注期別売上の状況

建築売上高の内訳（受注期別）



23/3期、24/3期受注に
大型・不採算工事が集中

- 今期は24/3期以前の割合が減少し、選別受注した工事が主体となる
- 不採算工事については、前期までに工事損失引当金を計上し、今期決算へのマイナス影響を回避

プロセスの見える化・強化を推進

受注決裁プロセス	価格決定プロセス	決裁判断レビュー
<p data-bbox="295 738 775 855">受注決裁へ管理部門が積極的関与</p> <ul data-bbox="277 930 763 1206" style="list-style-type: none"><li data-bbox="277 930 763 1046">■ 取組判断時から不採算受注を抑制<li data-bbox="277 1090 763 1206">■ プロセス全体の適正性を確認	<p data-bbox="882 738 1368 855">コスト管理センター（積算部＋購買部）を新設</p> <ul data-bbox="864 930 1350 1110" style="list-style-type: none"><li data-bbox="864 930 1350 1110">■ 価格競争力ある、的確な原価をつくり込む	<p data-bbox="1469 738 1955 855">受注時判断検討委員会を設置</p> <ul data-bbox="1451 930 1937 1110" style="list-style-type: none"><li data-bbox="1451 930 1937 1110">■ 判断の的確性、妥当性を検証、フィードバック

※全て設置、運用中

原価のモニタリング、コスト競争力の強化

前期実施

- **建築工事原価の精査（不確実性の排除）**
 - 追加工事、VE・CDの厳格な評価
 - 工程逼迫、労務・資材高騰の反映
 - 保守的基準による収益の見積もり 等

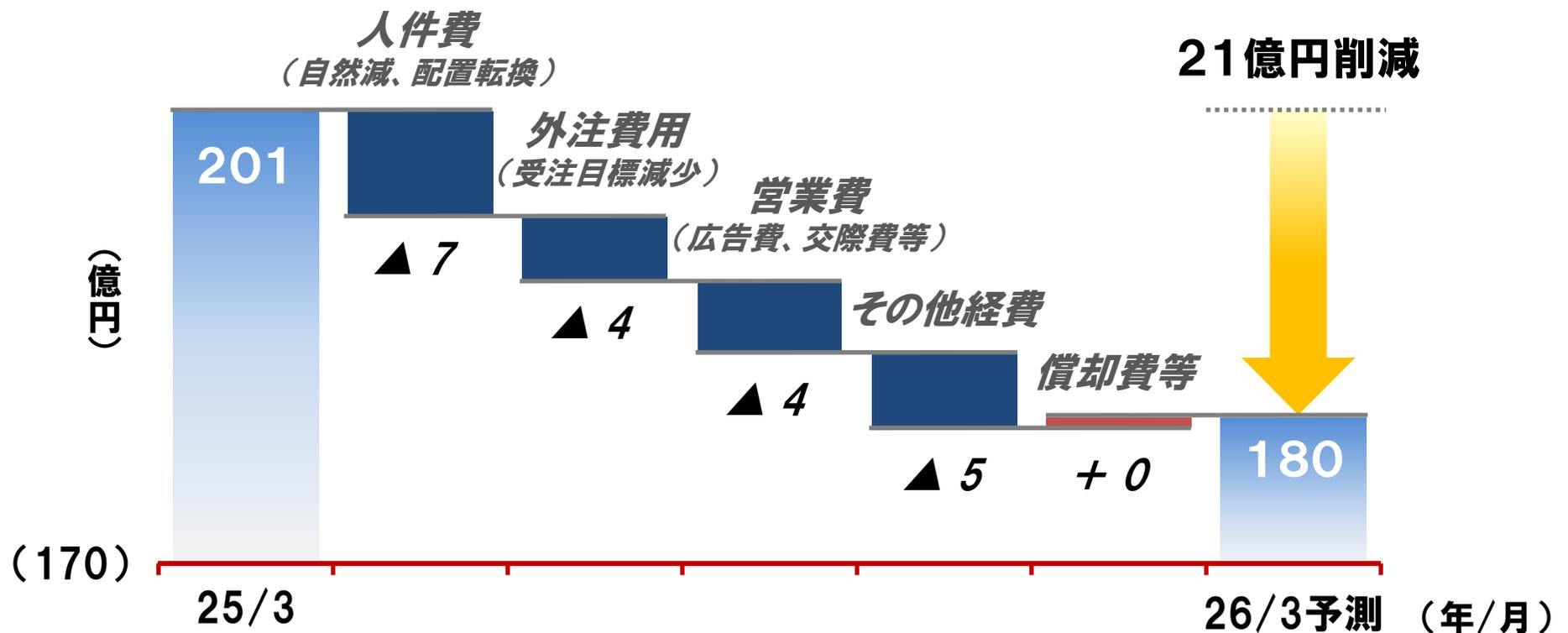
今期実施

- **原価モニタリングの徹底**
- **現場共通費の見直し**
- **協力会社との協働によるコスト削減**

一般管理費の削減

今期180億円(単体)を計画

ゼロベースでの積み上げ



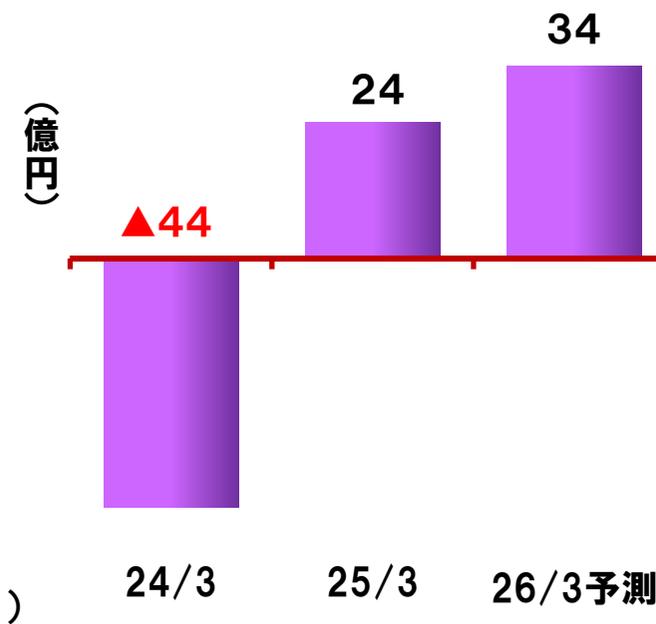
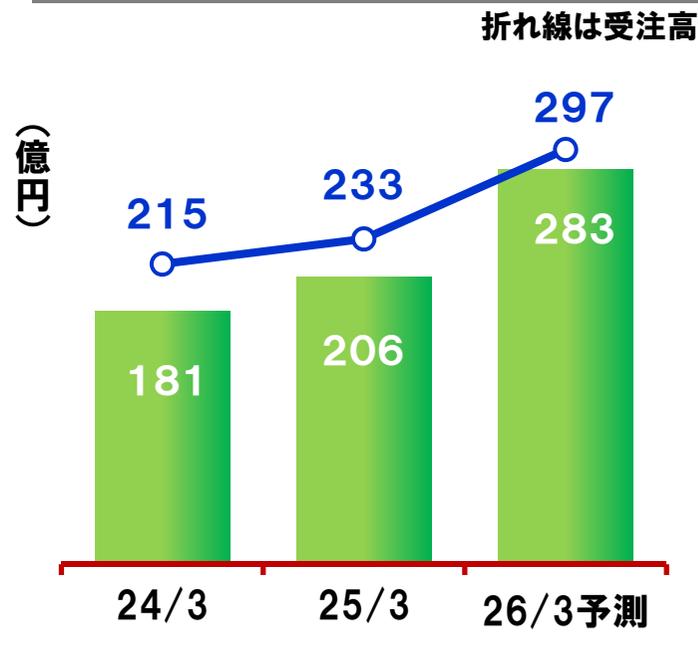
【参考】海外事業・不動産事業

28/3期目標：売上高300億円

28/3期目標：粗利益40億円

海外建設売上高（連結）

不動産等利益（連結）



※ 25/3決算レート: 1US\$ = 80.12円
26/3計画レート: 1US\$ = 96.6円

※ 評価損 24/3期: 74億円
25/3期: 5億円

【参考】環境関連事業



今期黒字化に万全を期す。

- 改善施策の確実な遂行
- モニタリングの徹底、早期の対応

収益力を再生する。

- 社内における価値観の転換
- 成長への仕掛け・仕組みづくり

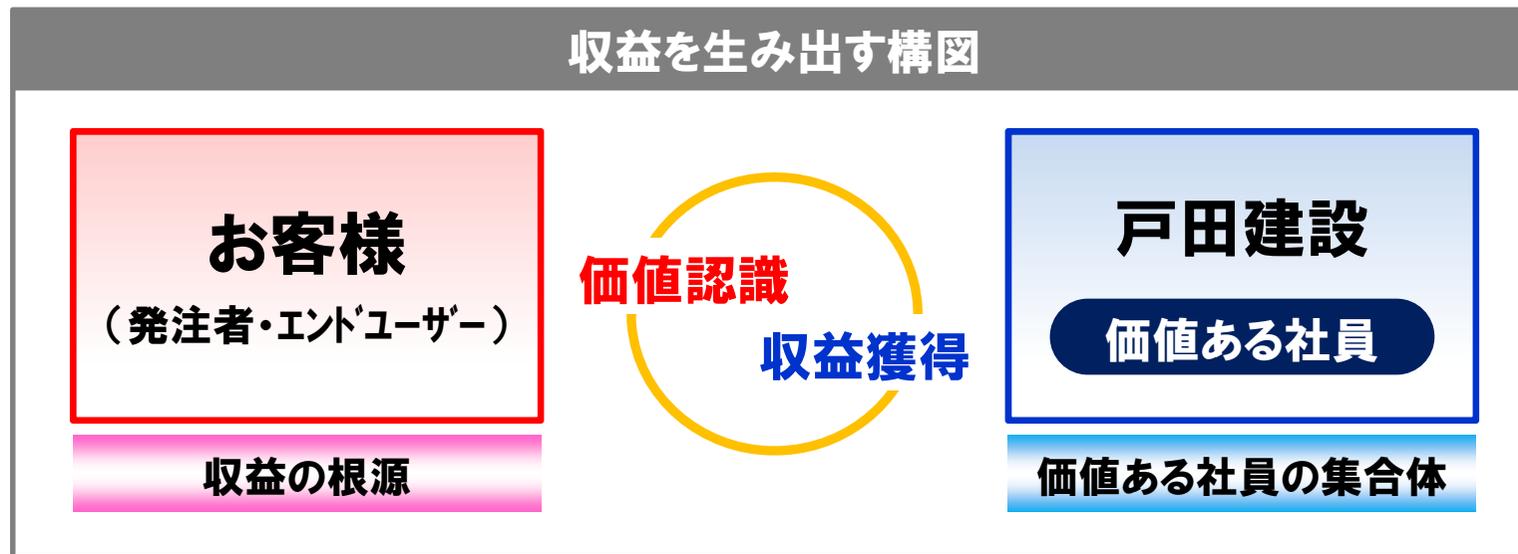
3. 今後の方向性

執行役員副社長 今井 雅則

自己紹介（職歴）

昭和53年	4月	当社入社
平成11年	4月	東京支店 建築部工事長
平成12年	2月	大阪支店 建築営業課長
平成13年	10月	大阪支店 京滋建築総合営業所長
平成16年	2月	大阪支店 支店次長（建築営業担当）
平成17年	4月	大阪支店 副店長（建築営業担当）
平成19年	2月	大阪支店 副店長（建築担当）
平成20年	4月	執行役員 大阪支店 副店長
平成21年	8月	常務執行役員 大阪支店 支店長
平成25年	3月	常務執行役員 建築本部執務
平成25年	4月	執行役員副社長
平成25年	6月	代表取締役社長（就任予定）

お客様に価値を認めていただいた結果が収益につながる



お客様に最も役立つ会社

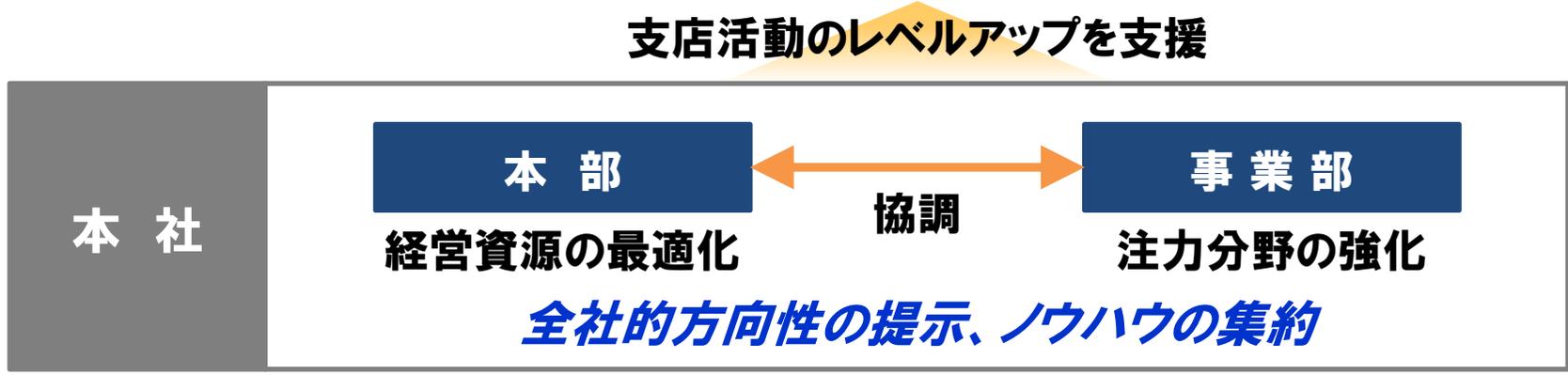
社会、協力会社、社員にとっても価値ある会社

建築・土木の枠組みを超えたソリューションを提供



組織の役割と責任

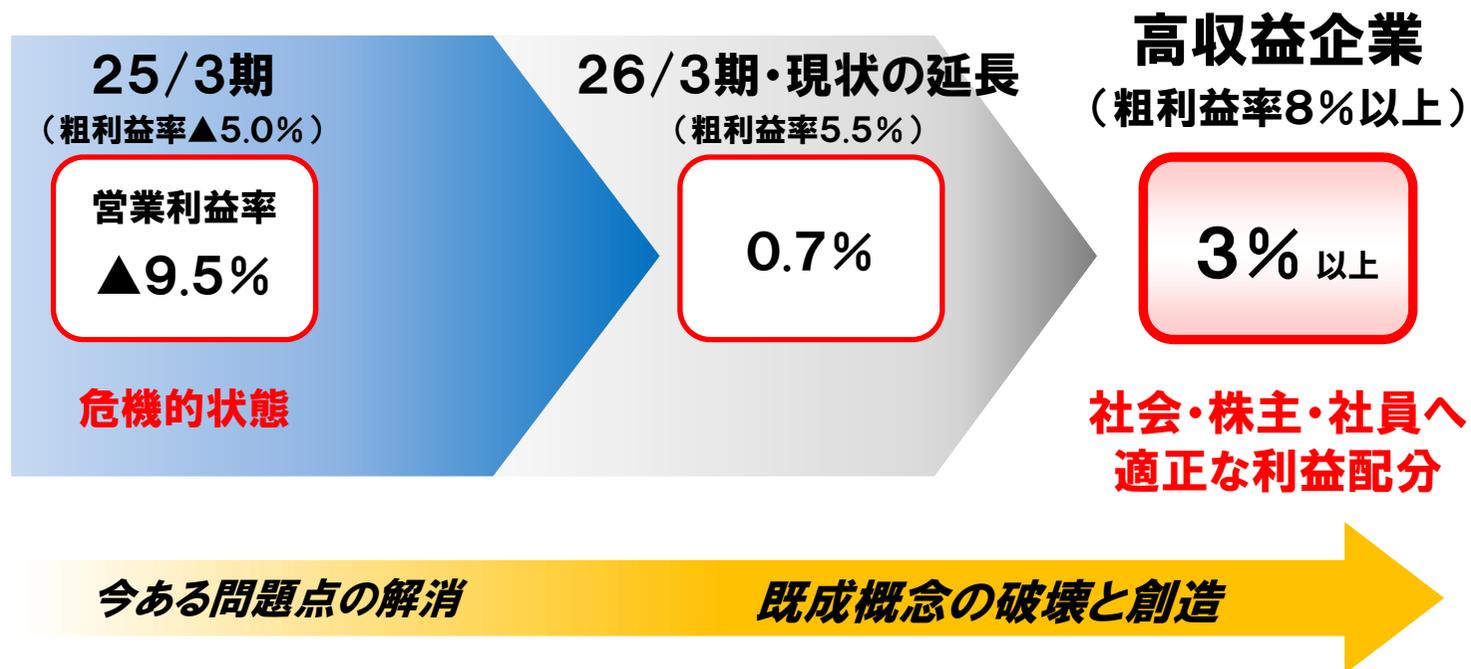
お客様を起点とした組織づくりを推進



真に価値ある会社 = 高収益企業

社会・市場が期待する最低限の収益をクリア

現状の延長線上に答えはない



人がつくる。人でつくる。

